

「知床」世界遺産登録時に決議された調査団の招聘について

1. 背景と目的

平成17年7月の第29回世界遺産委員会において、「知床」が世界自然遺産に登録された際の決議に基づいて、海域管理計画の策定状況や遺産地域の海洋資源の保全の効果、その他の勧告事項への取組状況などを評価するための調査団を招聘するもの。

2. 調査期間

平成20年2月19日（火）～22日（金）（4日間）

3. 調査団員

キショール・ラオ氏（Mr. Kishore Rao）
（ユネスコ世界遺産センター次長）
デビッド・シェパード氏（Mr. David Sheppard）
（IUCN保護地域事業部長）

4. 調査日程(案)

日程	調査内容	宿泊地
2月18日（月）	来日	東京
2月19日（火）	環境大臣表敬 日本政府による遺産登録後の経過説明 東京から羅臼町へ移動 レセプション（地元主催）	羅臼 （北海道）
2月20日（水）	海域管理計画に関する意見交換会 現地視察（漁港、オオワシ・オジロワシ観察、羅臼ビジターセンター）	羅臼 （北海道）
2月21日（木）	登録後の取組状況に関する説明会 ・ 河川工作物の評価・改修について ・ エゾシカの保護管理について ・ 利用適正化に向けた取組について ・ エコツーリズムの推進について 現地視察（河川工作物、流氷など）	ウトロ （北海道）
2月22日（金）	地域の取組に関する関係団体との意見交換会 記者会見 ウトロから東京へ移動	東京
2月23日（土）	離日	